

## 湯ノ岳断層に関する断層調査の概要について

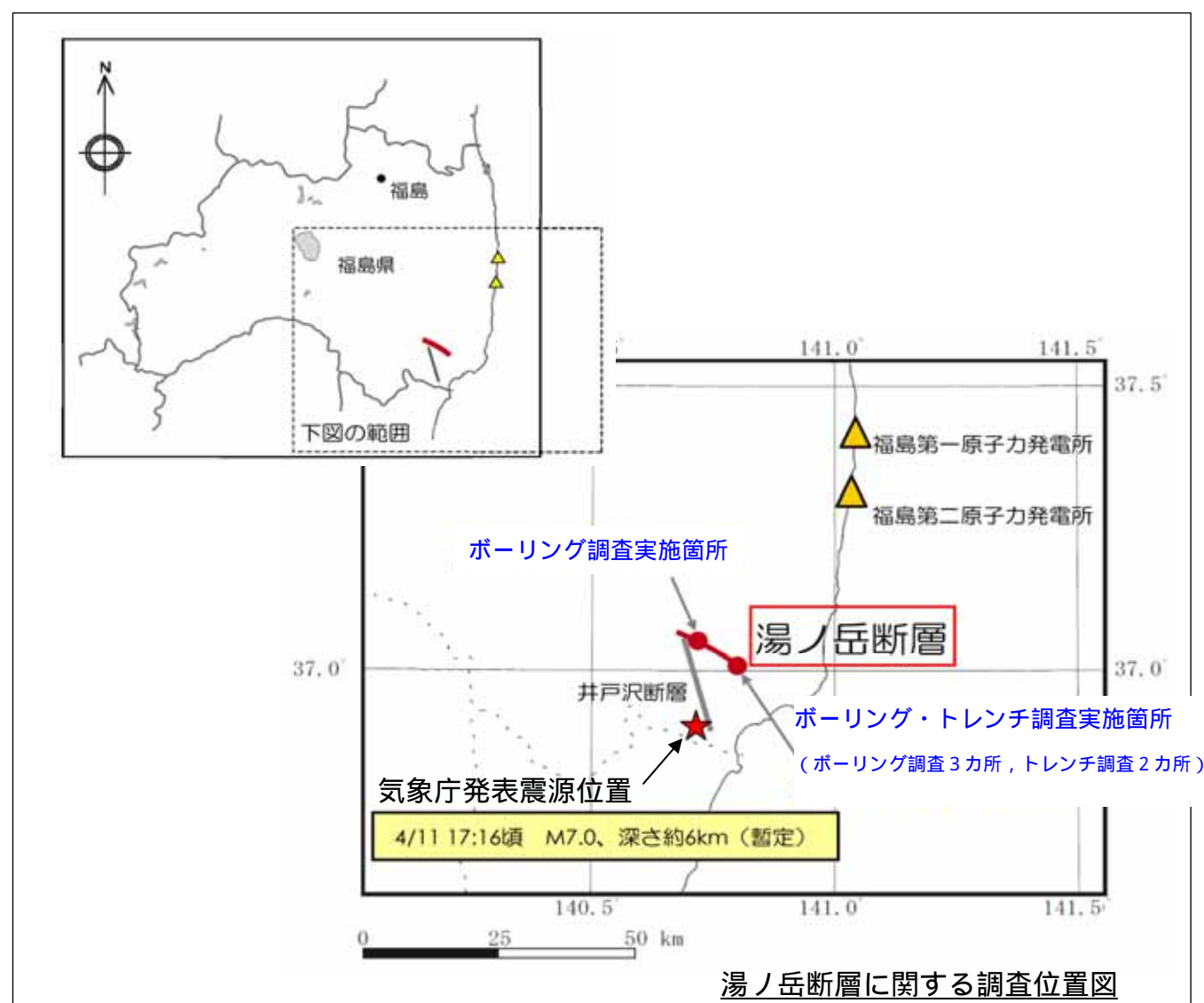
### 1. 調査目的

当社は、4月11日に発生した福島県浜通りの地震(M7.0)において、耐震設計上考慮する活断層と評価していない湯ノ岳断層沿いに正断層型の地震断層(地表面まで達した断層)が出現していることを確認しました。このことを踏まえ、湯ノ岳断層のこれまでの活動変遷を把握し、今回、地震断層が出現した原因やメカニズムについて検討するために、同断層周辺においてボーリング調査およびトレンチ調査を実施します。

### 2. 調査概要

#### (1) 調査範囲

下図に示す範囲について調査を実施する予定です。



#### (2) 調査実施時期(予定)

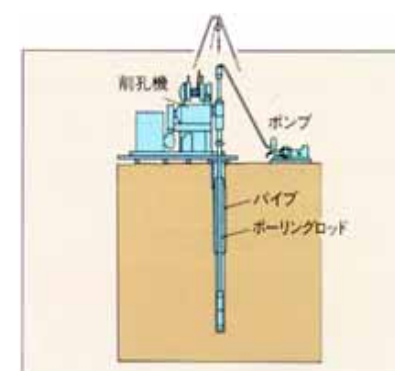
平成23年9月29日～平成23年11月下旬

#### (3) 調査方法

湯ノ岳断層の活動変遷を把握するため、左図に示す位置においてボーリング調査およびトレンチ調査を実施します。

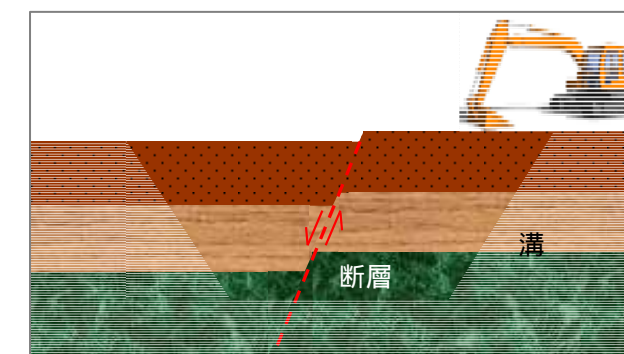
##### <ボーリング調査>

地盤を構成する岩石などを棒状のコアとして連続的に採取し、これを観察して地質の状況を調査します。これを複数箇所で行うことにより、地層の分布状況(連続分布など)を把握します。



##### <トレンチ調査>

断層を横切るように溝を掘り、溝の壁面に現れた断層部と断層周辺の地質を観察し、断層の過去の活動変遷を調査します。



### 3. 調査数量・概略工程(予定)

調査項目	数量	9月	10月	11月	12月
ボーリング調査	4地点(1地点あたり数本)		■		
トレンチ調査	2地点			■	

(注) 調査の状況によっては数量、工程を変更することもあります。